

平成24年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 1項 農業費
 1目 農業総務費

農政課(内線:7257)→事業実施:市場開拓課
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり美食Brand戦略推進事業	13,207	10,785	2,422				13,207	
トータルコスト	29,299千円(前年度 18,773千円) [正職員:2.0人]							
主な業務内容	県産農水産物のブランド化戦略策定、実践及びこれに伴う連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	新たなブランド化戦略に沿った農林水産物の販売(戦略実施数の目標値:7品目)							

事業内容の説明

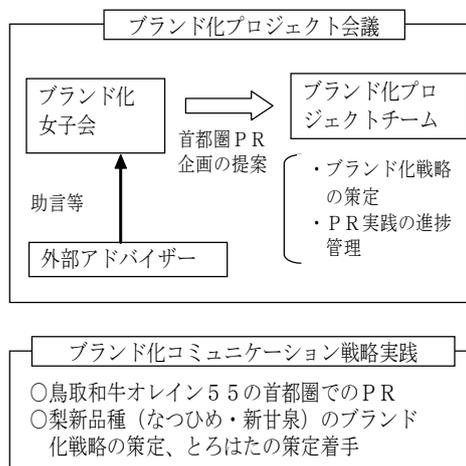
1 事業の目的・概要

従来の試食宣伝に留まらない効果的なコミュニケーション戦略を展開し、食を介して首都圏での鳥取県の認知度を向上させることにより、県産農林水産物のブランド力形成を図る。

2 主な事業内容

(1) ブランド化プロジェクト会議の設置(1,207千円)

「ブランド化プロジェクトチーム」と「ブランド化女子会」で構成する「ブランド化プロジェクト会議」を設置し、リーディングブランドとなることが期待される農水産物を首都圏で効果的にPRするための「ブランド化戦略」を策定する。



(ア) 「ブランド化プロジェクトチーム」の設置

- ・関係団体、大学、県等の20名で構成
- ・ブランド化戦略の策定及び首都圏PR実施の進捗管理等を実施する。

(イ) 「ブランド化女子会」の設置

- ・アナウンサー、野菜ソムリエ、県職員等13名の女性で構成(県民メンバー6名、県庁メンバー7名)
- ・外部アドバイザーと協議を重ね、消費者として食品に接する機会が多い女性の目線を反映させた首都圏でのPRの企画を検討、ブランド化プロジェクトチームに提案する。

(2) ブランド化コミュニケーション戦略実践事業(12,000千円)

(ア) 平成23年度ブランド化戦略策定品目のPR

平成23年度に策定したブランド化戦略(H23~H26年度)のうち、平成24年度実施分について、首都圏でのPR等を実践する。

【品目】鳥取和牛オレイン55 【内訳】5,000千円

(イ) 平成24年度ブランド化戦略策定品目のPR等

平成24年度ブランド化戦略策定品目について、ブランド化女子会が首都圏でのPRの企画を作成するにあたり、外部アドバイザーを設置し、女子会への助言、アイデアのブラッシュアップを行い、効果的なPR手法の構築を図る。また、梨新品種について、ブランド化戦略策定後、平成24年度計画分について首都圏におけるPR等を実践する。

【品目】梨新品種(なつひめ、新甘泉)、とろはた

【内訳】外部アドバイザーの設置:2,000千円、梨新品種PR実施経費:5,000千円

3 これまでの取組状況、改善点

- (1) これまでの農水産物のPRは、生産者組織が主体となって、京阪神等消費地での試食宣伝やイベント等を中心に実施してきたが、情報発信力が高い首都圏において、リーディングブランドとなることが期待される農水産物の効果的なPRを実施し、ブランド力を高めることで「食のみやこ鳥取県」を定着させ、食を通じた鳥取県の認知度向上を図っていくことが必要である。
- (2) 平成23年度は、推進体制を整備、鳥取和牛オレイン55のブランド化戦略を策定し、取組を開始したところ。(生産者PRチーム結成、消費者購入等意向調査、マスコミ関係者試食会等を実施予定)
- (3) 平成24年度から鳥取和牛オレイン55のPRを本格的に開始するとともに、梨新品種のブランド化戦略を策定後、とろはたのブランド化戦略策定に着手する。また、梨新品種は平成24年度よりPRを開始する。